

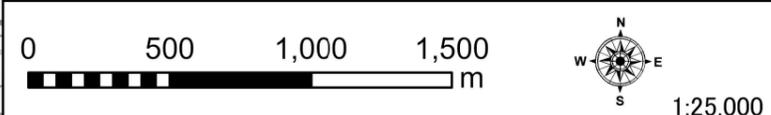
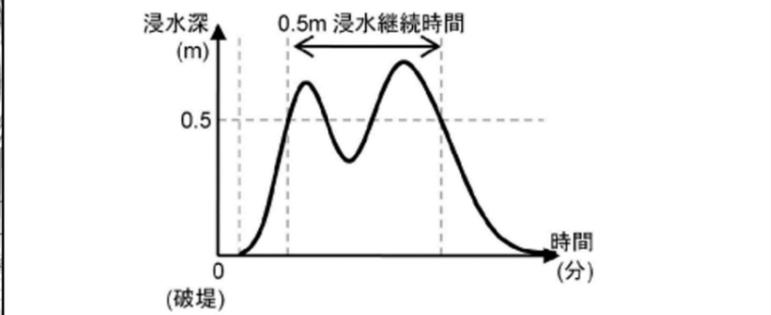
【留意事項】

- ・この図は、丹後沿岸において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される浸水継続時間を表示したものです。
- ・本図の作成に当たっては、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風により、丹後沿岸において潮位偏差及び有義波高等が最も大きくなる複数の経路を設定してシミュレーションを実施しています。
- ・台風の接近・上陸時には、高潮のみならず、降雨も想定されることから、背後に人口・資産が集積している河川については、高潮による影響が明らかな区間を対象に、計画規模の降雨による洪水が同時に発生することを想定しています。
- ・局所的な地盤の凹凸や建築物の形状、雨水出水（内水）の影響などにより、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水継続時間が長くなる場合があります。
- ・シミュレーションに用いた地形データは津波浸水想定策定時（平成28年度）及び航空レーザーデータ（令和5年度）を基本としているため、現状と異なる場合があります。
- ・高潮浸水想定区域は現在の科学的な知見や既往最大規模の台風を基に設定したものであり、これを超える高潮が発生しないというものではありません。
- ・新たな知見が得られた場合や高潮浸水想定区域に関する状況に変化があった場合等には、本図の見直しを行うことがあります。
- ・確実な避難のためには、気象庁が発表する台風情報や、各市町村が作成するハザードマップ、避難指示等を活用してください。

【基本事項】

(1) 作成主体	京都府
(2) 指定年月	令和8年2月
(3) 対象となる沿岸	丹後沿岸
(4) 前提となる外力	
台風規模	中心気圧 : 910hPa
最大旋衝風速半径	: 75km
移動速度	: 30km/h、73km/h

【用語の解説】
 浸水継続時間 : 浸水深0.5m以上の状態が継続する時間



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 7JHs 577」